

聖霊降臨節第18主日・世界聖餐日・世界宣教日（緑）
主日礼拝

2025年10月5日 10時20分～

司式：
奏楽：

＜神の招き＞

前 奏 『主よ、来たりて語りたまえ』 J.S. バッハ
招 詞 レビ記20章7節
賛 美 歌 57

＜神の言葉＞

祈 禱 聖霊の照らしを求める祈り
聖 書 出エジプト記20章1～17節 (旧約116頁)
エフェソの信徒への手紙5章1～5節 (新約350頁)

子ども説教
交 読 詩 編 詩編119編33～40節 (143頁)
賛 美 歌 442
説 教 「 聖なる者にふさわしく 」 八木浩史牧師
祈 禱
賛 美 歌 376

＜感謝の応答＞

信 仰 告 白 使徒信条
献 金
祈 禱 献金当番
主 の 祈 り (週報表紙、ホームページ掲載)
聖 餐 72 配餐：

＜派 遣＞

頌 栄 28
祝 福
報 告 10月誕生者祝福
後 奏

「聖なる者にふさわしく」

『出エジプト記』では、「十戒」が記されているところです。十戒は、「第一戒」から始まるのではなく、その前に書かれている言葉から始まります。「私は主、あなたの神、あなたをエジプトの地、奴隷の家から導き出した者である」…かつてエジプトで奴隷になっていたイスラエルは、神が遣わしてくださったモーセを通して解放されました。そのことがこの前文に記されています。そのようにイスラエルの民は、神の救いを受けたからこそ、戒めを守る者となるはずなのです。十戒は重荷なのではありません。神に救われた者が喜び、感謝の応答として、自ら神に従うことができるように、神の御心を知る道なのです。

『エフェソの信徒への手紙』では、「聖なる者にふさわしく」生きるために、具体的な指示が告げられます。「淫らなことも、どんな汚れたことも、貪欲なことも、口にしてはなりません。恥ずべきこと、愚かな話、下品な冗談もふさわしくありません。むしろ、感謝の言葉を口にしましょう、これらは重荷であるかのように思えます。そもそも「聖なる者にふさわしく」…などと言われても、不可能に思ってしまいます。なぜなら私たちは、キリスト者になってからも、罪を重ねてしまう弱い者であるからです。「聖なる者」などという言葉は、私たちには不釣り合いに思えてしまいます。しかしここで言われている「聖なる者」とは、自分の力によって「聖」となる者ではありません。主イエスの愛と贖いの御業によって、罪人のままに聖なる者とされたのです。その救いに感謝し、神への応答として、不十分でも良いので、新しい生き方に取り組んでいきたいのです。

礼拝当番： (役員：) 献金当番：
音響： 映像：